

2023年6月

RE-Users課題検討ワーキンググループ

# 自然エネルギー電力の 調達に関する課題と解決策

---

事務局：自然エネルギー財団

# 主要な課題 10項目

## ●コーポレートPPAに関する課題

1. 契約締結までに相当な手間と時間がかかる。
2. 発電設備を建設できる適地が限られている。
3. 電力供給事業者の協力を得られない。  
(フィジカルPPAにおいて)
4. 購入費用に対する会計上の取り扱いなどが定まっていない。  
(バーチャルPPAにおいて)。

# 主要な課題 10項目（続）

## ●電力調達全般に関する課題

5. 追加性のある電力の調達手段が限られている。
6. 太陽光以外の電力の供給量が増えていない。
7. 非化石証書の制度が複雑で利便性に欠ける。
8. 環境影響や人権問題に関する懸念が高まっている。
9. 新電力の競争力が低下している。
10. 国内外の制度が頻繁に変更される。

# 解決に向けた提言 5項目

## ■提言（政府と電力供給事業者に対する要望）

1. コーポレートPPAのガイドラインを策定して公表する。
2. 追加性のある自然エネルギーの電力の開発を促進する。
3. 非化石証書の制度を国際的な要件に合わせて改善する。
4. 電力供給事業者が公平に競争できる環境を整備する。
5. 国内の自然エネルギー関連技術の開発力を強化する。

# 解決に向けた提言

## 1. コーポレートPPAのガイドライン

- ・ 契約締結までのプロセスと検討項目
- ・ 契約価格の算定方法と妥当性の評価
- ・ 長期契約におけるリスクと対策
- ・ 電力供給事業者に対する指針（部分供給の適正化）
- ・ 法制度の適用範囲と留意点
- ・ 会計処理や税務処理の方法と留意点
- ・ 標準的な契約項目（契約書のひな型など）

# 解決に向けた提言（続）

## 2. 追加性のある自然エネルギーの電力

- ・ 規制緩和による適地の拡大
- ・ 排他的経済水域における洋上風力発電の導入拡大
- ・ 系統接続の改善、出力抑制の低減
- ・ 環境アセスメントの効率化
- ・ 追加性のある電力メニューの拡大
- ・ 追加性や環境負荷を評価するラベリング制度の導入
- ・ コーポレートPPAを対象にした再エネ賦課金の免除

# 解決に向けた提言（続）

## 3. 非化石証書の制度の改善

- ・ 発行方法（すべての証書に発行時点で属性情報を付加）
- ・ 取引方法（年に4回の入札のほかにも取引可能に）
- ・ 取引価格（最低価格を廃止、証書ごとに設定可能に）
- ・ 購入者（小売電気事業者でなくとも購入可能に）
- ・ 有効期限（年度単位の制約から適正な期間へ緩和）

# 解決に向けた提言（続）

## 4. 電力供給事業者が公平に競争できる環境整備

- 旧一般電気事業者と新規参入事業者の競争環境  
（法令順守の徹底など）
- 卸電力取引の透明性  
（内部取引の監視強化など）
- 新規参入事業者に対する支援  
（市場価格高騰時の補助など）

# 解決に向けた提言（続）

## 5. 国内の自然エネルギー関連技術の開発力強化

- ・ 日本の風土に合った発電技術の開発  
（ペロブスカイト太陽電池、浮体式洋上風力など）
- ・ 小水力発電や地熱発電のコスト低減と適地拡大
- ・ 水力発電やバイオマス発電の環境負荷を軽減する技術
- ・ 蓄電池の技術開発とコスト低減
- ・ 海外に依存しないサプライチェーンの構築
- ・ 自治体との連携による地域産業の育成